

福岡市美術館が贈る

親子で楽しむクリスマスコンサート

Happy Christmas Time!

プロコフィエフ ピーターと狼

ARTMUSICA (アートムジカ)

Special Guest 永田 明 (フルート)

ピアノと歌、そして絵画の魅力をたっぷりとつめこんだ
パフォーマンス・ユニット「アートムジカ」が今年も素敵なクリスマスをお届けします。
クラシックの名曲、プロコフィエフの「ピーターと狼」の音楽に乗せて、
お話しと絵のペインティングで物語は繰り広げられます。
そしてフルートとピアノによるクリスマスナンバーなど楽しさ満載のコンサート、
ぜひお子さまと一緒に美術館で豊かな時間をお過ごしください。



by Maki Hosaka

2026 12.12 sat.
福岡市美術館ミュージアムホール
13:30 開場 14:00 開演 (15:00 終演予定)

料金

500円(1名)／事前申し込み制 170席定員

申し込み多数の場合は抽選となります。
入場料は当日会場受付でお支払いください。(現金のみ受付)

申込方法

福岡市美術館のホームページよりお申し込みください。
<https://www.fukuoka-art-museum.jp/event/>

申込受付期間

10月15日～11月16日 ※1回のご応募につき4名まで受付



プログラム

- ☆ フルードとピアノによる
「ホワイトクリスマス」「そりすべり」他
- ☆ プロコフィエフ「ピーターと狼」
- ☆ 等身大スケッチ
どんな絵になるのかな? 他

※内容は当日変更になる場合があります。

●申込多数の場合は抽選とさせていただきます。当選結果は11月20日頃にメールでご連絡いたします。●大人の方のみのご参加も可能です。
●3歳未満のお子さまの入場はお断りしています。●演奏中の会場への出入りはご遠慮ください。

【お問い合わせ先】福岡市美術館 TEL 092-714-6051 (9:30~17:30/休館日を除く) 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

主催：福岡アートミュージアムパートナーズ

ARTMUSICA (アートムジカ)

アートムジカは、ピアノ奏者の田中美江、ソプラノ歌手の小野弥生、画家の保坂真紀によって2010年に結成されたパフォーマンスユニット。ユニット名のアートムジカとは、3人それぞれの専門分野である「ピアノ」「歌」「絵画」の融合(ART:芸術+MUSICA:音楽)を意味している。

活動は多岐にわたり、幼稚園や保育園、小学校、公民館、病院、高齢者施設等、観客を飽きさせない工夫がてんこ盛りで、小さなお子様からご高齢の方々にもご鑑賞いただいて好評を得ている。2011年夏に岩手県、2016年には熊本の被災地でボランティア公演も行った。また、昨年夏には大牟田市動物園内の「ともだちや絵本美術館」にて『おんがく絵本の世界展』が開催された。現在公演回数は590回を迎え、2027年早々には600回を超える予定である。



..... 永田 明 Nagata Akira (フルート)

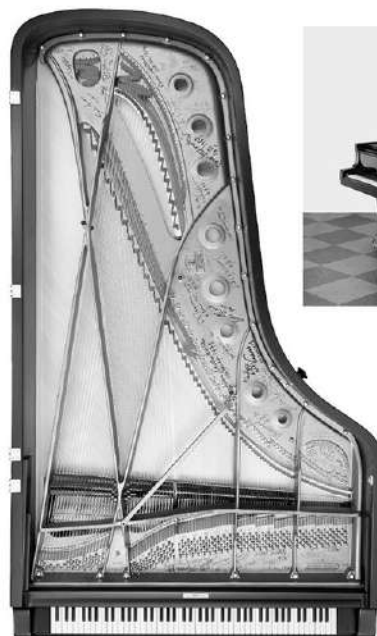
フルート、ピアノを17才より始める。宮崎大学教育学部を経て京都市立芸術大学音楽学部入学。在学中より京都市交響楽団、ヴィエールフィル(現関西フィルハーモニー)等に客演。卒業後、同大学非常勤講師、ヴィエールフィル(現関西フィルハーモニー)フルート奏者等を経て九州交響楽団入団。オーケストラの他、JMJ(青少年音楽日本連合)シンフォニーオーケストラ、大阪フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等とソリストとして協演、また、リサイタル、室内楽コンサートなど各地で開催。2018年、定年退団。現在、佐賀県立佐賀北高校芸術科非常勤講師、福岡、長崎、宮崎各フルートコンサートディレクター、福岡ジュニアオーケストラ講師、対馬市まちづくりアドバイザー。



レガシーピアノとは

レガシーピアノと呼ばれるこのピアノは2023年11月に福岡市美術館へ収蔵されました。これは1963年に開館した福岡市民会館が購入したドイツ・スタインウェイ社製フルコンサートグランドピアノです。

以来、世界中の多くの演奏家たちがこのピアノでコンサートを行ってきましたが、60年の歳月で老朽化は免れず、演奏される機会もなくなり近年は静かに眠っていました。しかしながら、このピアノのフレームには40人もの著名な演奏家たちのサインが遺されており、一人の市民の声から2022年に“レガシーピアノ保存プロジェクト”が発足、福岡の音楽文化の遺産ともいべきこのピアノを修復し、次の世代に繋いでいこうという活動が始まりました。そうして多くの方々の支援を得てこのピアノは生まれ変わり、2023年11月に福岡市美術館に収められました。これから再び福岡の音楽シーンでみなさまに愛され、演奏されていくことでしょう。



◎レガシーピアノに関する詳細は
<https://specials.nishinippon.co.jp/legacy-piano/>

